

平成 29 年 10 月 17 日

いわくにバス株式会社

代表取締役社長 上田 純史 様

岩国市長 福田 良彦
(総合政策部地域交通課)



乗合バスの安全運行の確保について

平成 29 年 10 月 16 日 (月) に市民から通報があり、その内容は、「去る、10 月 13 日 (金) 午前 7 時 30 分ころ、J R 岩徳線の西岩国駅付近の「錦見踏切」において、貴社の乗合バスが、信号待ちにより、車体の後部分を踏切内に残した状態で停車していたため、踏切の遮断機が降りず、J R 岩徳線の岩国駅 7 時 19 分発の列車が、当該踏切手前で緊急停車し、当該バスに乗り合わせていた乗客に恐怖心を与えた。」とのことでした。

J R 岩国駅に問い合わせたところ、当該列車は「錦見踏切」の手前において、踏切異常の警報により一時緊急停車したため、西岩国駅に 3 分遅れで到着していたことを確認しました。

このような事象は、重大事故につながる可能性があり、市民の移動手段として、安心安全な運行が求められる、乗合バス事業者として、あってはならないことです。

また、乗合バスは、市民の移動手段として重要な役割を担う公共交通機関であることから、今後の再発防止策として、運転者への教育や安全運行マニュアルを作成するとともに、社員全員への周知徹底等の対策を講じられるよう求めます。